道路開通情報

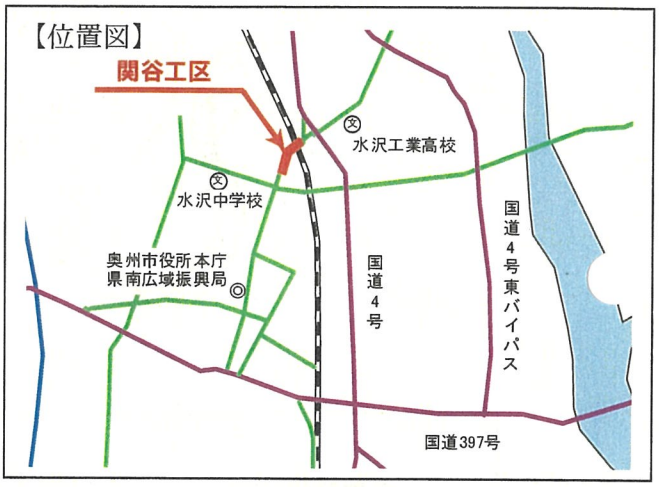
一般県道佐倉河真城線『関谷工区』が竣工

道路建設課、 県南広域振興局土木部

奥州市水沢区の一般県道佐倉河真城線関谷工区は、平成11年度から道路改良工事に着手し、整備を進めてきましたがこのたび整備が完了し、１１月２８日供用開始しました。

当日は、地元住民ら関係者約40名が出席し『一般県道佐倉河真城線関谷地区道路改良工事の完成を祝う会』が開かれ、完成を祝うテープカットなどが行われました。

【位置図】



《路線と工区の概要》

一般県道佐倉河真城線は、国道４号を起点とし、奥州市中心部を通る生活道路となっています。当該地区は、奥州市役所本庁・水沢総合支所、水沢工業高校、水沢中学校等の公共施設への通勤・通学路として利用されていますが、幅員が狭く歩道が無いことから、歩行者や自転車にとって危険な区間となっていました。

この整備により、円滑な自動車交通と歩行者及び自転車の安全な通行が図られます。

【計画概要】

全体計画：H11～H20
事業費：約13億円
延長：360m
幅員：　整備前 車道部6.0m（全幅 9.0m）
↓※歩道整備後
整備後 車道部6.0m（全幅16.0m）

開通を祝うテープカットの様子